



2016年度

総合基礎実技展

キラトリ展

7月16日(土)～31日(日)

9:00 - 17:00

オープンキャンパス：7月31日(日)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日が休館日)

観覧料：無料

京都市立芸術大学 芸大ギャラリー他



「切り取る」

私達 135 人はそれぞれ強い個性があり、色々な思いや表現を持っています。
総合基礎は、その個人を課題という枠で切り取るようなものだと考えました。
その枠を生かしたり、やりたいことがピタッとはまった人。
枠に収まらなかったり、合わなかったりして不満を覚えた人。枠を超えて楽しんだ人。
枠は同じでも、それに対して色々な切り取られ方がある…それが今年の総合基礎なのではないかと考えています。

今回課題という枠で切り取られた私達。

そこには、枠には収まりきらなかった私達の可能性が垣間見えるかもしれません。

「総合基礎実技」とは？

「総合基礎実技」は美術学部にて、三十年以上の実績を持ったユニークな実技カリキュラムです。
私達は一年次前期の半年間、様々な分野の教員による指導のもと、所属の科を超えて課題に取り組みます。今後美術に携わる者として多様な専門領域での交友関係を持ち、自己の視野を広げることを目的としています。

本年度は一年生自らが展覧会を企画、運営しました。

私達がどのようなこだわりをもって作品や展覧会を生み出したか、ぜひ感じ取って頂きたいです。



第一課題「私のこだわり採集」
各々のこだわりからモチーフとなる風景やモノを五点採取し、その形や色彩、表情、明暗といった心惹かれる面を細密に描き出す。自分の中の微細な偏りまで追求した五点が響き合い、それぞれの世界観を作っていく。
(4月11日～4月28日)

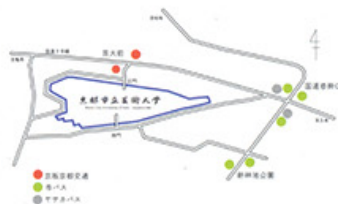


第二課題「大切にしたい私の道具」
私という存在を大切にするための、自分の中に深く潜る道具作り。自己の抱く思い入れや衝動を探し、愛着のわく道具としての用途を与える。発想から素材選び、作業工程に至るまでこだわり続け、既成の道具にはない価値と具体化した思いを加えた。
(5月6日～5月26日)

第三課題「町家を見て学び、古都京都の伝統的街並に貢献する建物の模型をつくる」
京都にある町家を観察し、今後の街づくりを考えながら、自由な発想で町家を制作する。
(5月30日～6月17日)



第四課題「他者との対話から：あなたの願いをかたちにします」
こだわりという言葉を探る、総合基礎実技の集大成。学内外でのインタビューや取材を通して他者と対話し、そこから汲み取れる「欲求 / 欲望 / 希望 / 願望 / 願い / 夢」をもとに、自由な形で表現する。
(6月20日～7月8日)



JR 京都駅から
京阪京都交通バス 2・14・28 系統「芸大前」下車すぐ
市バス 73 系統「国道沓掛口」徒歩 10 分

阪急桂駅から
「桂駅東口」京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28 系統
「芸大前」下車すぐ

お問い合わせ：

京都市立芸術大学事務局教務学生課 美術教務担当
TEL:075-334-2220 (土日祝を除く 8:30-17:15)
〒610-1197 京都府京都市西京区大枝沓掛町 13-6
<http://www.kcua.ac.jp>

※オープンキャンパスに関するお問い合わせは、本学事務局
連携推進課入試担当 (TEL:075-334-2238) まで